



滋賀のこだわり～みんなが輝く大会に 子ども、若者、女性が活躍

開催準備から運営まで幅広い世代の方々に参画いただきました。

◆花いっぱい運動◆

会場を彩った花々は園児から大人まで幅広い世代が関わって育てました。



◆手作り応援のぼり旗の制作◆

児童・生徒が選手を応援するのぼり旗を制作しました。



◆炬火受皿づくり◆

炬火を一時的に灯す炬火受皿の装飾を小学生が制作しました。



県内19市町の小学生が参加

びわ湖の生き物や特産品をイメージ

子どもたちの個性あふれる装飾のピース

◆学校観戦◆

約3万5000人(約300校)の子ども達が会場で選手等に声援を送りました。



◆都道府県応援団◆

両大会の開会式において、彦根市立小学校17校の児童が各都道府県(指定都市)の選手団にエールを送りました。





滋賀のこだわり～みんなが輝く大会に

子ども、若者、女性が活躍

◆競技補助員・式典スタッフ・選手団サポーター◆

高校生を中心とした約1万5000人の競技補助員や式典スタッフ等が大会運営をサポートし、約1,700人の大学生等が障スポ選手団をサポートしました。



◆わたSHIGA輝く国スポ・障スポ教室◆

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポイメージソング「シャイン!!」の手話歌体験を通して、子どもたちの障害者理解を深めるとともに、両大会への興味関心の向上を図りました。



◆レイキッズの活躍 次世代アスリート発掘育成プロジェクト◆

将来、全国大会や世界大会で活躍できる選手を見出し、育成するプロジェクト「次世代アスリート発掘育成プロジェクト(通称:レイキッズ)」。

わたSHIGA 輝く国スポにはレイキッズの卒業生21名が出場し、うち12名が入賞を果たしました。



エールの会

4つのポイント

入賞記念品等

炬火台等

両大会のPR

両大会のあゆみ

協賛・募金

県実行委員会
組織図・名簿

エールの会

4つのポイント

入賞記念品等

炬火台等

両大会のPR

両大会のあゆみ

協賛・募金

県実行委員会
組織図・名簿